

市 町 村 名	南国市
事 業 名	南国市結婚新生活支援事業
事業の趣旨・目的	本市では、平成29年度から地域少子化対策重点交付金を活用し、個人の価値観を重視した自分らしい結婚観を自発的に育てる機会と出会いの機会を設け、結婚し、家庭生活を持続することができる若者・未婚者の育成のための結婚支援を行う（現在申請中）。本事業は育成～婚活に続き、婚姻に伴う新生活を始めるにあたり、経済的理由により一歩前へ進むことのできない者に対し、経済的な支援という面で後押しを行い、もって安定した家庭生活の実現を促し少子化対策とするものである。
地域の実情と課題	南国市の人口は、平成28年11月1日現在で48,053人である。第4次南国市総合計画（平成28年度▶平成37年度）により、本市の将来の人口の見通しは、現状のままでは平成32年には45,000人程度、さらに平成37年には42,500人程度になると推計されている。また、20代、30代の未婚率が平成22年度で20代77.2%、30代33.2%となっている。現在、本計画の基本計画の中で「子育て支援の充実」を挙げ、子育て支援サービスの充実と子どもの居場所づくりの推進、地域における子育て支援の充実、子育てに関する経済的支援の充実、及び児童家庭相談・支援体制の充実を主要施策とし子育て支援の分野について取り組んでいる。 今後、人口減少に歯止めをかけ、人口増加を導くために若者が安心して生活できる環境を整えるため、結婚を希望する方に対して結婚新生活に向けてのライフプランや、結婚し家族という形を安定して維持できるための人間力を養うための取り組み及び経済的支援、地域や企業・事業所との連携を図る取り組みなどが必要である。
市町村における結婚支援の全体像及びその中の本事業の位置づけ	平成27年9月に策定し、平成28年7月に改訂した「南国市まち・ひと・しごと創生総合戦略」により人口減少に起因する諸問題を克服するための基本目標のひとつとして「若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる」を挙げ、具体的な施策として、 ①若者の就労支援と定住支援 ②若者の結婚への支援 ③子育て支援策の充実 を挙げており、本事業は、②に該当する。
重要業績評価指標（KPI）及び定量的成果目標	南国市においては、所得340万円未満の新婚世帯を20件、予算の制約により本補助金の対象世帯を10件と見込んでいる。より多くの新婚世帯に対して結婚に伴う経済的負担の軽減ができるよう、地域少子化対策重点推進交付金を活用したセミナー等における後方活動や不動産事業者、引っ越し事業者への周知活動に努めることにより支給見込み世帯（10件）の70%に対して補助金を支給することを目標とする。 <参考指標> ※婚姻数、婚姻率、出生数、出生率等 平成27年度婚姻届数 : 296件 平成27年度出生数 : 389人 ○「南国市まち・ひと・しごと創生総合戦略」より ◆合計特殊出生率：1.39（平成20～24年平均値）→1.58（平成32年） ◆20代、30代の未婚率の減少：20代77.2%、30代33.2%（平成22年）→20代70%、30代25%（平成32年）
実 施 期 間	平成29年4月1日 ～ 平成30年3月31日